

待望のキリンの赤ちゃん誕生



10/8に誕生した
アミメキリンの赤ちゃん
誕生時推定165cm、60kg



旭山動物園では今年も多くの命が誕生しました。その中でも特に感慨深いのが、アミメキリンの誕生です。キリンの繁殖成功は実に20年ぶり。厳密にいうと、皆さんにお披露目できたのが20年ぶりとなります。もうじゅう館が完成した20年前、アミメキリンのタミオとマーナの子が誕生しましたが、1歳1か月で本州の動物園に行きました。キリンは2歳前後までには他園館に移動しなければいけないのです。その理由は、3歳になると繁殖可能になり、近親交配の危険が生じることもあるのですが、身長が伸びすぎて輸送が困難になるからです。輸送箱に入れトラックの荷台に積んでトンネルを通れるのは、2歳ぐらいまでです。トンネルがないのなら、手続きをすれば輸送は可能ですが、旭川の場合、道内でも札幌、帯広、釧路などの動物園に行くにもトンネルはありません。

話は、道内でも札幌、帯広、釧路などの動物園に行くにもトンネルはありません。

話がそれましたが、平成11年マーナ、同16年タミオが死に、旭山は一時期キリンのいない動物園になりました。その後、同18年雌のマリモが、同20年雄のゲンキが来園。マリモはゲンキとの間に2頭の子を出産しますが、1頭目は出産当日に、2頭目は翌日に死亡。施設の不備も子の死亡原因の要素だと考えられました。3頭目を身ごもった状態で、同25年に新居のきりん舎に引越しました。新居は繁殖を念頭に寝室を造ったので、ここで3度目の正直を期待していたのですが、マリモは蹄の変形から関節の変形・炎症が進行し、これが原因で転倒し、同26年誤嚥死しました。

そして同27年、アメリカから雌の結が来園。ゲンキとのペアで、今回、初産での育児成功となりました。キリンに関しては過去にもこの手紙で幾度も書いてきましたが、書きながら次から次に思い出があふれてきます。

これでやっと、きりん舎は命をつなぐことができるキリンの住み家になりました。



赤ちゃんの様子はモニターで、ご覧いただけます

これから冬になるので、赤ちゃんの屋外の飼育展示は不定期となります。寝室の様子を、きりん舎横に設置したモニターを通して見ることができます。



11/11から冬期開園が始まっています

冬期開園
来年4/7(日)まで=10:30~15:30 (入園は15:00まで)。12/30日~1/1(火)は休園



ペンギンの散歩は12月下旬から(積雪状況による)

最新ニュースは旭山動物園で!



【詳細】旭山動物園(東旭川町倉沼 電話36・1104)

旭山動物園をもっと楽しむ

旭山動物園動物ふれあいフォトコンテスト作品募集中

- 内「楽しかった動物園」をテーマに動物の生き生きとした表情や愉快なしぐさの写真を募集
- 申同園各門、同園HPにある応募券を

写真の裏面に貼り、データと一緒に11/30(金)までに郵送

ワンポイントガイド

- 内飼育員が動物たちのエピソードなどを紹介
- 日毎週日曜日、祝日 13:30から

とことん旭山

- 内日動物園裏側探検 ●きりん舎・かば館編=12/22(土) 11:00から ●旧キリン舎・カバ舎・調理棟編=12/29(土) 11:00から
- 定各20人
- 申電話で各日の3週間前9:00から

